

フードバンク活動をととした地域で支え合うネットワークの構築

「食品ロスの削減」と「生活困窮者への食料支援」は、深刻な社会問題となっていることから、多様な機関、団体、住民等との協働により、この2つの課題をつなぎ、「食」を通じた地域の支え合い活動に取り組んでいる。

NPO 法人フードバンク信州、生活就労支援センター「まいさぽ」



○H29 年度実績

- ・フードドライブ実施回数 91 回
- ・寄贈数 22,772 点
- ・寄贈総重量 11,074.2kg

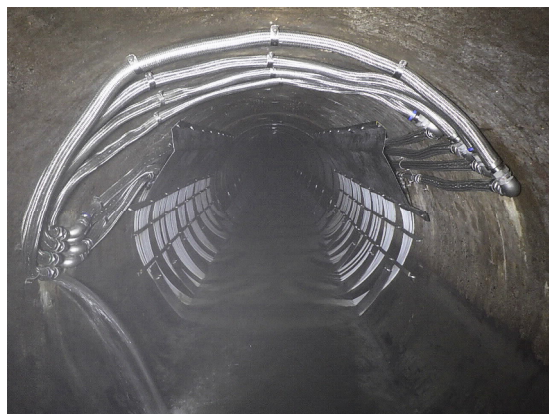


食料支援を必要とする人が増えており、「まいさぽ」等を通して、個人や社会福祉施設、子どもの居場所などへの食料支援に活用することができました。

流域下水道における下水熱利用

未利用エネルギーである下水熱利用を促進するため、流域下水道において下水熱を民間事業者が利用するための仕組みを平成 29 年度に策定し、利用が始まっています。

シーエナジー（中部電力㈱100%子会社）



- ・（株）シーエナジーは諏訪赤十字病院の冷暖房や給湯といった熱源供給事業を行っています。
- ・年間を通じて安定している下水道管を流れる下水の温度と、外気温との温度差を利用しています。
- ・未利用エネルギーである下水熱を利用することにより、民間事業者の省エネやCO₂削減を図ることが可能となります。

（左の写真は、実際に下水道管に設置されている設備です。）



流域下水道における下水熱利用の仕組みを策定したことにより、民間事業者がスムーズに下水熱を利用できるようになりました。

信州ベンチャーコンテスト

県内の大学や関係機関と連携して**信州ベンチャーコンテスト実行委員会**を組織し、県内高校生、大学生をはじめ、起業に関心のある若者などがビジネスアイデアやビジネスプランを発表する「信州ベンチャーコンテスト」を開催しています。



▶これまでのビジネスアイデア・プランの応募件数

平成 26 年度：76 件、平成 27 年度：89 件、

平成 28 年度：57 件、平成 29 年度：56 件 計 278 件



県内の各起業支援団体と連携することで、コンテスト参加者が**様々な人脈を得られるイベントとすることができました。**

シューカツ NAGANO 応援隊

長野県に U ターン就職するかどうかを悩む学生から、「現場で働く、身近な若手社員の話を知りたい」との希望が寄せられたことを契機に、**県内企業 21 社**と協働し、U ターン就職の促進を図るべく、実際に長野県内の企業等で働く社員と大学生等が気軽に話せる機会をつくりました。



- ・シューカツ NAGANO 応援隊員に U ターンの動機や企業選びの方法、現在の生活等について取材を行い、その内容をまとめた冊子を発行しました。
- ・学生とシューカツ NAGANO 応援隊が話せる交流会を 4 回開催しました。
 - <参加実績> 2017 年度交流会学生参加者：79 名
 - <参加学生アンケート> 満足度：98.7% また参加したい：96.9%
 - <参加学生の声>
 - ・地元の情報は地元で集めるのが一番と感じた
 - ・長野でいきいきと働いている方々の姿を見て、長野で就職したいという気持ちが強くなった。



民間企業との協働により、**県内企業で働くこと、県内で生活することの魅力**を学生に対して効果的に発信することができました

信州エクスターンシップ事業

NPO 法人夢のデザイン塾と明治大学社会イノベーション・デザイン研究所

より、人材還流及びキャリア教育を目的に、就職活動を始める前の学生を主な対象とした「早期キャリア教育プログラム」（信州エクスターンシップ）実施の提案を受けて実施した事業です。

ほかに、**県内企業 15 社、JA 長野中央会、JA 長野グループ、長野市**が協働しています。



NPO 夢のデザイン塾を中心に県内企業からの理解を得ながら、産・官・学・農の各分野をまたがり、同事業のプログラム内容を開発しました。

- ・首都圏 8 大学、県内 2 大学から 36 名の学生が参加。
- ・1 週間に及ぶプログラムで学生は 2 社・団体に訪問しました。
- ・1 週間のプログラムの中日には、リンゴ収穫体験やそば打ち体験といった長野県の特産に触れられる企画を実施しました。

参加学生アンケート

信州の魅力を感じることができた 94.3%

信州で働きたいと思った 64.7%



民間企業や大学等と協働することにより、学生に対して、**県内企業の魅力、企業等で働いている社会人の魅力を伝えることができました**

夏山常駐パトロール隊等への物品提供

味の素（株）及び（株）モンベルと、サプライヤー契約を締結し、夏山常駐パトロール隊が使用するスポーツ用サプリメントや登山用ウェア等を提供していただきました。



毎夏、県山岳遭難防止対策協会（県遭対協）防止対策部（山岳高原観光課）が北アルプスに50日間配置する夏山常駐パトロール隊約30名等の活動に必要な、スポーツ用サプリメント、調味料、食品（スープ）について味の素（株）から、登山用ウェア及びザックについて（株）モンベルから提供を受けています。



隊員からは「疲労がかなり軽減された」「被救助者の容態が改善して動けるようになった」「防水性、速乾性、軽量性などに優れており活動し易い」などの声をいただきました。

信州ブランドフォーラム・アワード

当地の優れたブランドを選考・周知して地域の魅力を高め、信州全体のブランド価値を底上げすることを目的に、優れたものを表彰していく実行委員会が立ち上がっています。

県経営者協会、県商工会議所連合会、県中小企業団体中央会、県商工会連合会、信州大学、県が協働しています。



・ブランドアワードは14回を数え、県内の地域ブランド、企業・事業ブランド、個別ブランドの3部門を表彰。これまでに200ブランドを選定しました。



入選ブランドは、各種メディアなどで紹介され、今後の地域貢献、ブランド価値の向上につながります。

NAGANOデザインフェスタ

デザインを通じた長野県ブランドの向上と地域活動への若者参加促進を目的に、**岡学園トータルデザインアカデミー、信濃毎日新聞社、県**によるNAGANOデザインフェスタ実行委員会が、「第4回 長野県の高校生によるデザインフェスタ」を開催しました。



ナガノデザインフェスタにおいて高校生による、Tシャツ部門及びクリアファイル部門のデザインコンテスト、ファッションショーを実施。優秀な作品を表彰し、各部門に知事賞を交付。



長野県に住む若者や、**高校生がデザインの楽しさを学び、デザインを通じ長野を発信する場となっています。参加した生徒から「感動した」という声も多く聞かれています。**

「信州 DC おもてなし隊」 “手を振ろう！運動”の拡大

多くの県民の皆様に協働していただきました。

信州を訪れる観光客に対し、県民のおもてなし向上による顧客満足度の向上とリピーターの増加を図るため、H25年11月に「日本一のおもてなし県」を目指す「ずく出し！知恵出し！おもてなし」プロジェクトをスタート。H29年夏の信州デスティネーションキャンペーンにおいて更に県民の機運を高めるため「信州 DC おもてなし隊」を募集しました。



平成29年7月から9月にかけて実施した「信州デスティネーションキャンペーン（信州 DC）」期間中、県内各地の駅や沿線などで手を振って観光客を歓迎する「手を振ろう！運動」を実施。実施箇所574ヶ所 参加人数 約5万人



観光事業者だけでなく、**こどもから大人まで多くの県民に参加していただくことができました。**